

【所管事務の調査（報告）】

橘リサイクルコミュニティセンターの  
現状と今後の方向性について

資料 1 橘リサイクルコミュニティセンターの現状と  
今後の方向性について

環 境 局

# 橘リサイクルコミュニティセンターの現状と今後の方向性について

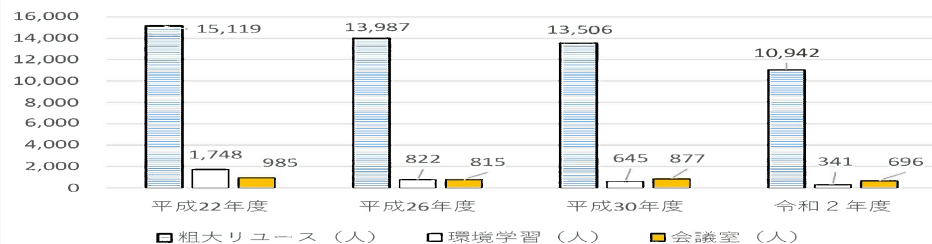
## 1 施設の概要

- 設置目的**：市民による廃棄物の再利用及び再生利用に係る活動支援及び環境学習を行うことにより、資源循環型社会の構築の推進を目的として設置された公の施設（川崎市リサイクルコミュニティセンター条例より引用）
- 所在地**：高津区新作1-20-3（橘処理センター敷地内）
- 竣工時期**：平成5年11月
- 面積**：960㎡
- 指定管理**：テスコ株式会社（令和3年度指定管理料：21,790,185円）
- 指定期間**：平成31年4月1日から令和5年3月31日まで（第4期）

## 2 主な機能と利用状況

- 環境学習機能**  
リサイクル講座や教室の開催（各講座の開催頻度は月一回程度）
  - ・学習室…エコぞうり教室（定員5～20名）、紙すき教室（定員10名）
  - ・実践コーナー…石けん教室（定員10名）、ウッドクラフト教室（定員5名）等
  - ・施設見学…施設職員による施設案内（定員1名～）
- 環境活動の場の提供**
  - ・会議室利用市民団体数：3団体（RF同好会、サロンドリメイク、チクチクの会）（各団体活動頻度月一回程度、構成員約10名、一回の活動での活動人数は3～5名程度）
- 粗大リユース機能**（展示コーナーにより実施）  
粗大ごみの中の再利用可能な家具類等を展示し抽選により市民へ無償譲渡
  - ・令和2年度利用者数 10,942人
  - ・令和2年度リユース実績：521点（展示数は630点、申込総数3,143件）  
本市の粗大ごみ申請数は約1,300,000点（収集量：12,841t）で、521点は0.04%にあたる。

橘リサイクルコミュニティセンター利用者数の推移



- ◆橘リサイクルコミュニティセンターの各利用者数は減少傾向
- ◆利用者の9割以上が粗大リユース

## 3 施設の課題等

- 【課題1】利用者数の低迷、会議室の低稼働
- 【課題2】利用者の9割以上が粗大リユースで、かつ利用者が限定されている傾向
- 【課題3】設備の老朽化（開設から28年が経過）
- 【課題4】建築基準法や都市計画法による廃棄物処理施設としての用途制限（現状より収益性の高い事業化が困難）

### 【関係者からの意見】

- ・リユース事業者：用途制限があることから収益性の高い事業化は困難
- ・指定管理者選定評価委員会の委員：施設の必要性やあり方について検討が必要

## 4 とりまく状況の変化

### 1 環境学習・環境活動の場

- かわさきエコ暮らし未来館（平成23年度開館）、CCかわさき交流コーナー（平成23年度開館）、王禅寺エコ暮らし環境館（平成28年度開館）等の市内の普及啓発施設の開設をはじめ、東芝未来科学館、昭和電工㈱の工場見学等の民間企業等による環境学習等、環境学習機会の多様化
- 地球温暖化防止活動推進センターによる市民活動の中間支援機能拡充、環境ワークショップの実施
- 橘処理センターの建替え（平成27年度～令和4年度）に伴う、環境学習機能の拡充
- 資産マネジメント第3期実施方針の方向性（案）において、今後増大する大規模修繕や更新等を迎える施設に対して、施設の多目的化及び複合化に向けた施設の集約が示されている。

### 2 粗大リユース

- 橘リサイクルコミュニティセンター設置当初には普及していなかった民間企業によるリユース市場の活性化及び地域コミュニティサイトの充実
- インターネットを利用した中古品のリユースに関するサービスの選択肢の多様化

## 5 今後の方向性

課題や社会状況の変化等を踏まえながら、施設の継続と廃止等のあらゆる選択肢を含め、持続可能な行財政運営の観点から、施設のあり方について検討を行う。

### ○今後検討すべき事項

#### 1 環境学習機能・環境活動の場の提供

- 南北の普及啓発施設、地球温暖化防止活動推進センターの啓発機能・環境学習機能との連携
- 地域の意見を聞きながら橘処理センターの見学・展示施設を整備するとともに、稼働後の処理センターでの環境学習・啓発事業についても調整
- 民間企業等と連携した環境学習・啓発事業の実施
- 隣接する市民プラザ等と調整

#### 2 粗大リユース機能

- 川崎市リユース・リサイクルショップの拡充
- 粗大ごみ受付時のリユース市場やリユースプラットフォームへの誘導
- 民間企業と連携したリユース促進

### ○今後の主なスケジュールについて

今後のあり方は総合計画第3期実施計画及び行財政改革第3期プログラムの策定と並行しながら検討を行う。

- ・令和3年8月～ 橘リサイクルコミュニティセンター利用団体意見聴取
- ・令和3年9月～ 橘リサイクルコミュニティセンター運営委員会等意見聴取